

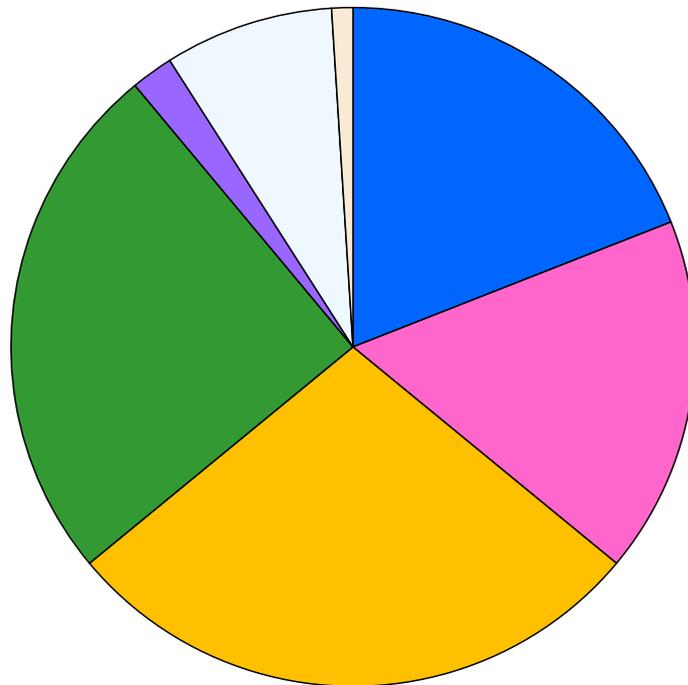
プログラム名 社会の変化を会計で読み解く～どう働き、どう生きるか～
第11回デジタルTERA小屋 野田弘子さん

単元名 RA

アンケートタイトル 社会の変化を会計で読み解く～どう働き、どう生きるか～
第11回デジタルTERA小屋 野田弘子さん

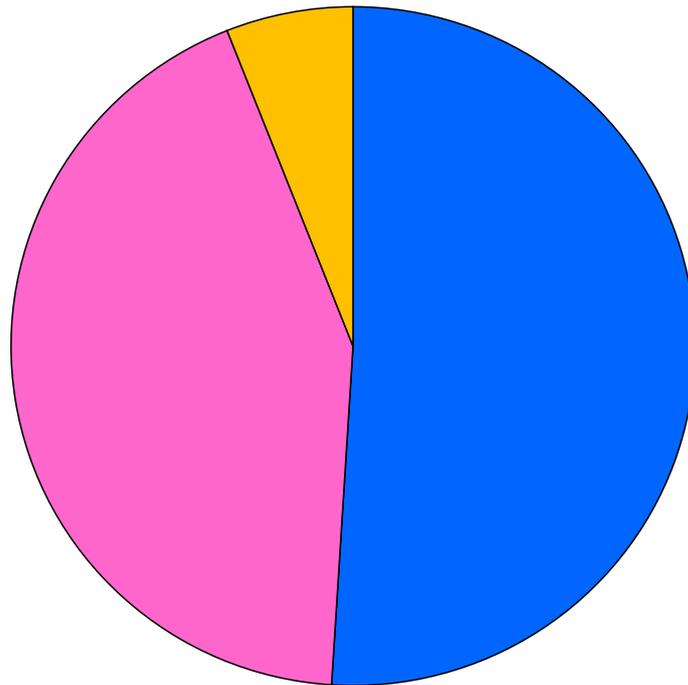
質問1 本プログラムを同僚や友人など身近な人におすすめしたいと思いますか。1
1段階でお答えください（10＝必ず勧める ～ 0＝勧めない）（択一式）

No	解答	人数	%
1	10＝必ず勧める	10	19%
2	9	9	17%
3	8	15	28%
4	7	13	25%
5	6	1	2%
6	5＝どちらでもない	4	8%
7	4	1	2%
8	3	0	0%
9	2	0	0%
10	1	0	0%
11	0＝勧めない	0	0%
合計		53	



質問2 本プログラムは、皆さまの働き方や生き方について考えるきっかけになりましたか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	なった	27	51%
2	ある程度なった	23	43%
3	どちらもでない	3	6%
4	あまりならなかった	0	0%
5	ならなかった	0	0%
合計		53	



質問3 本プログラムにご参加いただき、気付いたこと、これからご自身で実践したいと思ったことなどはありますか。
小さなことでも構いませんので、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

- ・ 会計に興味を持つことが大切だと改めて感じました。
- ・ わかりやすく、興味深いお話。楽しく聴けました。ありがとうございました。
- ・ 会計の変化を常々気にしていきたい
- ・ 会計は無味乾燥なイメージでしたが、野田先生のお話で生き物に感じました。会社や世界を見る器官としての会計について、勉強したいと思います。
難しい内容を解りやすく説明いただき、とても有意義でした。
ありがとうございました。
- ・ 経済に関するニュースを見る際に、会計を想像しながら見てみようと思いました。
自分にかけている確定拠出年金の投資配分を見直そうと思いました。
- ・ 世界の金融情勢と企業の経営状況について話を聞きたかった。
- ・ 勤務の都合で途中からの参加となりました。
資料を共有してくださっていてありがたいです。
もしアーカイブ配信があれば最初から視聴したいと思います。
- ・ 今の若い人は多様性を学んでいるので、今までの悪しき習慣を変えていってほしいと改めて思いました。
- ・ 会社との距離感、良い言葉だと思いました。今の自分の気持ちに合っていました。
- ・ 利益率の話は、印象に残りました。
- ・ かつてトヨタと並んで二大自動車メーカーといわれた日産が、なぜ今身売り寸前まで凋落したかの理由が今日の講義を聞いてよく理解できました。
- ・ 野田先生、ありがとうございました。先生のお話は、いつも、会計だけじゃない、D E & I だけじゃない、E S G だけじゃない、ぜんぶがつながっている、という、俯瞰した見方を教えてくださることで、目の前の業務で視野が狭くなってしまいがちなときに、はっと気づくことが多くて有難いです。
- ・ 何度か野田さんの講義を聞きましたが 再認識できました。
- ・ 野田先生の講義は何度か受講させて頂いておりますが、自身の環境変化と共に受講のたびに理解がより深く広がっています。企業に属していて、つい目先・手元に集中しがちですので、距離を置き客観的であることを意識して、自社の状況を理解し判断していきたいと思います。
- ・ 会計に興味を持ち、周りの人にも持ってもらいたいと思いました。
- ・ 今まではサラリーマンでしたが投資家として会社を評価する基準をわかりやすく教えていただいたと思います。
教えていただいた指標などをよく考えて投資に活用していきたいです。

・株式会社とは、という初歩的なお話からROEなどの指標のお話、PBR1倍割れ、TOPIX問題、非財務情報の開示の大切さなど、流れるようにご説明いただき、新入社員のような初心者にもわかりやすく、多くの社員に聞いて欲しいと思いました。一方で株式実務担当者としてはドキッとするような耳の痛いお話、経営者にも聞いて欲しい内容もありました。「わかっているけどなかなか手を付けられない」ではなく行動に移す！ことが大事だと改めて思いました。会社との距離感・客観的に冷静に外から見る目も大事ですね。とても響きました。ありがとうございました。

・やはり野田さんのてきぱきしたお話は聞きやすいです！

ダイバーシティのことも「まだ土俵に乗ってない」には大いに納得しました。

・実際に決算書を作っているのでも、頭のなかで考えながら聞けてよかったです。pbr1%割れというのがよくわかりました。ありがとうございました。

・PBR指標を今回習いましたのでこれを参考に、今後NISAで買い付ける株式の、買う会社を今後決めていきたいと思いました。今株を持っている会社のPBRも調べました。そして、利益は社会からの評価であると、社員に教えている会社のPBRは1以下の0.7~0.8でした。

・バランスシートは子どもができた時、不動産を買う時、退職する時などの節目節目で見直せば良いのかなと思っていたのですが、もっと小まめに見直したほうが良いのかなと思いました。

・会社は個人を守ってくれないという視点が気づきでした。

・国内企業の多くが自らの資産を成長させるのではなく減少させているという事実には驚いた。

・数字から読み解く事の大切さや面白さを興味深く受講でき、大変有意義だった。

・なかなか高度についていくことが出来なかった

会計やお金という分野を学校教育に組み込んでみてはどうかと思う

社会人の何%が、会計ということを意識しているか ほとんどしてないと思う

・人材の多様性が、新たなことを生み出す。そのためには、寛容になることだと気づきました。また、人に理解してもらうためには、言語化する力が求められる等、心に響きました。

・難しく内容が半分も理解できない自分を恥ずかしく思います。オンデマンドで見れるようになったら、もう一度最初から見ます。自分も他人に指示を出すときは「ざっとやって」「イイ感じでやって」と言ってしまふことが多いので、少しでも時間をかけて他人に伝えることをしていこうと。

ただ、自分は経営者にも会計にも向いていないということだけは分かりました。

・もう一度、会計を学びたいと感じています。

・統合報告書というのをよく知らなかったのもう少し詳しく勉強してみたくまりました

・株式投資を始める前に財務諸表の見方は基本を勉強したつもりでしたが、参加して内容が深まりました。

・今日の研修はそれぞれが理路整然とした話でしたが、今後はその内容の本質的な部分

を理解していく必要があると思いました。

・欧米との経済格差がこのように開いているとは、改めて驚きを覚えました。社会を一步離れて俯瞰してみる。おっしゃる通りだと思いました。会計という数字の世界から読み解く現代社会は、奥が深く新たな価値観に触れたような気がしました。統合報告書について、今後は自分なりに注目していきたい項目の一つになりました。

・本日のお話にありました統合報告書について興味を持ちました。会社の取り組みや将来像を知ることで、自分が応援したい企業を見つけてみたいと思います。ひとりひとりが経営者目線で物事を考えられるようになれば、企業の成長に繋がるのではないのでしょうか。日本でも個人の確定申告が導入されたら良いと思います。

・会社とは、株価とは、会計の役割など、とても勉強になりました。統合報告書や日本の会社法、会計基準の種類などもわかりやすく説明頂き、ありがとうございました。統合報告書や非財務情報など、今後重要な役割を果たす報告書について目を通してみたいと思います。

・関心のある企業の統合報告書を読んでみる

・会社との距離感のお話、よくわかりました。働く女性のモチベーションが上がるお話も多く、楽しく爽快でした。ありがとうございます。

・野田さんのお話を聞いて、仕事(会社)とのスタンスは、このままでいいと思いましたので、引き続き働いていきたいと思います。

・私は、野田先生が仰っている「男・日本人・同じ会社に30年」そのものであります。お世話になった会社は大卒と高卒の壁も無く良い職場でしたがそれは男性の話し、女性の大卒採用は無く18歳で入社し20歳代半ばで結婚したら退職する慣行でした。こういうことが今も私の身体にこびりついていることに気が付きました。このことに気付けたことに感謝し、相当手遅れではありますが今後の行動に反映致したく思います。ありがとうございました。

・現職ではないが、社会生活者として、企業の動向に関心を寄せないと、世間から隔絶される。その為の会計学は有用。

・とてもわかりやすい解説でした。日本の成長が停滞どころか衰退していることが海外からみるとわかりました。それは生活が圧迫されてくるのも当然ですね。アメリカと日本の比較など具体的な数字があり理解しやすかったです。会社の在り方にしても現状維持だけでは足りないという事を改めて感じました。アーカイブ化されたらもう一度拝見します

・思っていた以上に面白い内容でした。会計はこれまで縁遠い存在でしたが、統合報告書は会社の詳細版ホームページのようなものと理解し身近に感じられました。「失われた30年」と言われるように、日本の企業が危機的な状況にあるとは知りませんでした。成長期には終身雇用が適していたものの、その後の社会情勢の変化に対応できなかったことが大きな要因だという説明にも納得しました。「おじさんばかり 30年 同じ会社で いいアイデアが出るはずがない・・・」でしたでしょうか？開始前のVTRの言葉が印象的でした これまで、ESG投資という言葉は耳にしておりましたが今回の説明でより理解できました。会計士の仕事は、財務の面から企業を診断する医者のようなものと個人的に思いました。難しい話を分かりやすく、興味深く説明していただき、ありがとうございました。人に何かを教えることの難しさを改めて感じましたが、大変参考になりました。こんな授業ならどんどん受けてみたいと思わされる話術と内容でし

た。早速、気になる企業の統合報告書を見てみようと思います。企業型確定拠出年金に加入しているため、私も投資家の一人であることを再認識しましたので！！貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。次回開催も楽しみにしています。

- ・自社の見直し、中期計画立案に活用したいです。

- ・他の会社もスペシャリストの育成ばかりでゼネラリストを育成しないので視野が狭まってしまおうと感じる。

社内で革新を求めるならばゼネラリストの育成が必要であると思われる。変化対応が必要であるならば短期間でいいと思うので初歩的なマニュアルありきで体験異動というのもありかと思う。

- ・株価純資産倍率（PBR）の割合が日本では一割を切っているという内容に驚かされました。低い割合をどのように上げて行くかが課題と思いますが日本の経済の成長が鈍化してゆく中、自分がどのように役に立てられるかを常に模索しながら学び直しをしてゆきたいと考えました。

- ・少子化対策のいい切り口になると思いました。

- ・会社との距離感についてしっかり考えていきたいと思いました。自分のいる会社がコーポレートガバナンスがちゃんと機能している会社なのかも同じく考えていきたいです。

- ・自分の会社と距離を置く、実際に距離を置くわけではなく、客観性をもって自社の状況を見てみるという点がすごく印象に残りました。今後の参考にしたいと思いました。

- ・会計は、会社を客観的に見るスキルという言葉がグサッと心に刺さりました。客観的に見れていない自分はどうしたら良いのか、自分はどのように今後、キャリアを続けていくのか、客観的に考えられるようにしていきたいと思えます。

- ・初めて聞く専門的な会計、税務用語が多々あり、無知な自分にはがっかりしました。

- ・いろいろと参考になりました。株式含むお金のことは難しいことが多いですが、少しずつ理解を深められれば、と思えます。

とりあえずはいろいろな企業の統合報告書を見ることから始めようと思いました。

- ・確定拠出年金やNISAにより、自己責任による投資が身近になり、上手く運用するためにはそれなりの知識がないといけないと痛感しています。遅いスタートですが、これから少しでもお金や会計について学べればと思えます。

質問4 全体を通してのご感想やご意見、今後の開催に向けてのご要望等ございましたら、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

- ・新NISAの扱い方、株の賢い付き合い方について知りたくなりました。
- ・特になし
- ・とにかく解りやすかったです。野田先生のお人柄も大好きです。今回のテーマに関連することとしては、実際の有価証券報告書を題材に、今日のお話をいただくと、より理解が深まりそうです。
- ・会計の話ということで難しい話を予想していたが、説明が丁寧で思いのほかわかりやすかった。とはいえ、図表の内容はなじみがあまりないものだったので、説明箇所をマウスポインターなどで示してもらえると更にわかりやすかったと思いました。
- ・大変参考になりました。今後の自分の成長の糧にしたいと思います。
- ・今の政府・役人に聞かせたいと思いました。失われた20年ではなく40年だと思います。
- ・野田先生のお話が大変わかりやすく、ためになりました。ありがとうございました。
- ・とてもためになる講義でしたが、短い時間にもかかわらず、内容がはちきれんばかりに詰め込まれていて、普段聞きなれない用語が次々と出てきて、消化不良気味でした。そんな状況でしたが、最近よく耳にする持ち株会社とは何かも話していただければもっと話が身近に感じられたと思います。
- ・ハイブリッドで、質問など、ファシリティも良かったです
- ・質問と回答のやり取りが非常に参考になり、学びが深まりました。素敵なお話をありがとうございました。
- ・とても分かりやすいご説明でとてもよかったです。伊庭野さんのご質問もなかなか的を得ていたように感じました。次回以降の寺子屋にもぜひ参加したいと思いました。ありがとうございました。
- ・質問3に重複して書いた通りです。1000円という安価な値段でとても有意義なセミナーに参加させていただきありがとうございました。従業員向けのわかりやすい投資教育や非財務情報開示（主に統合報告書）の好事例など具体的なお話も聞いてみたいです。
- ・物価高や賃金横ばいなど、生きていくのにいっぱいいっぱいという世の中です。たまにはお笑いをまぶした講演を聞いてみたいです。（芸人さんとかアスリートとか）
- ・次回、野田さんのプログラムに参加できるなら「会社員として最低限必要な会計知識。どんな勉強方法が良いか。何を学べば良いか」という話を聞きたいです。
- ・トランプ政権となり、ESGに取り組んでいる企業は連邦政府の仕事から外す、ということで多くの企業がESGを取りやめました。日本企業の中にも取りやめた企業が出てきています。正直、ESG対応の費用を別に向けられる分、止めた企業の方が有利なイメー

ジがあるのですが、実際のところはどのようなのでしょうか

- ・ 社会人のためになる内容の研修は日中帯に開催だと嬉しいです。
 - ・ 野田さんの話は難しい事を分かりやすく説明頂けるの非常に有意義だった。
 - ・ 専門用語が出てくる場合は事前に提示してもらえると助かる
 - ・ 新しいことを知り、勉強になりました。60代は、孫、子どもに何を残せるか！共感いたしました。
- 難しい内容なのに、楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・ 野田さんの講演中、お顔が出ている場面が多く感じましたが、スライドをもう少しじっくりと見せてほしかったです。頭が悪いので、文字を見ないと理解できません… また投影されるスライドがずれている場面や一瞬しか映らないスライドもあったので、オンデマンドで見れるときには修正していただけると助かります。
 - ・ すごく勉強になりました。会社の会計を読むということの大事さを改めて感じました。
 - ・ 個人的にはもう少し早い時間の開始だと参加しやすいです
 - ・ ・ 会計や株関係の専門用語はテロップ(スクロール)等で、略称と解釈がスライド説明中、後も流れるとより理解が深まるかと思えます。 ・ 登壇者の名札が一部照明に反射しているので、照明を調整するか低反射フィルム等を貼って抑えた方がよいかと思えます。 ・ ライブで見えていましたが、リップシンクがずれているのが気になりました。
 - ・ 動画再生時間の最大時間？が「298261:37:04」となっていました。
 - ・ 今回の研修の内容を踏まえると、日本が世界基準に追いつくにはどれくらいの時間がかかるのだろうかと思いました。
 - ・ 人生100年時代を生きるヒントになるお話が聞きたいと思えます。また、医療や介護の現状とその行く末などにも興味があります。
 - ・ 話のテンポが速いのでちょっと疲れる
 - ・ 敬遠しがちな、会計、横文字がなかなか頭に入ってこないのですが、分かりやすいお話で、まずキーワードから調べてみようと思いました。大きな一歩です。
 - ・ 興味深くはありましたが、初心者にはちょっと難しかったです。なので簡単に他人には勧められないな、と思いました。
 - ・ 野田先生のお話しはとても腑に落ちました。ただ残念なことは、大企業の経営者は従業員・取引先等よりも株主の方ばかり見た経営が多いように思います。企業の社会貢献という意識の高い人が経営者になる社会にしたいものです。
 - ・ 懇親会に参加したかったが、寒いので自宅参加。
 - ・ 社会の変化を会計で読み解く なるほどと感じた驚きがありました。一人ひとりが今後を考えて少しでも変えていこうとすることが大切だと感じました。いきつけとなるプログラムでした。
 - ・ プログラム構成が良かったです。間に伊庭野コーディネーターが入ることにより、話の軸がぶれずに、質も高まりました。やはりリアルが良いですね。

皆様ありがとうございました。

- ・ 学生時代にこのような講習を受け現時点の世界情勢や日本の情勢が知れたらよかったと思う。
- ・ 会計学、経済学に興味があります。引き続き継続でお願いします。
- ・ 社会全体の変化が激しいので乗り遅れないように、また置いて行かれないように複数の視点から物事を考えていきたいと思います。
- ・ 難しい話をすごく楽しく聞きやすくお話しされていて聞きやすかったです。
- ・ お話の内容が少し難しく感じていたのですが野田さんのお話がとても上手で、人前で話すのに慣れていらっしゃってとても聞きやすかったです。
- ・ 会場参加予定からオンライン参加に切り替えましたが、当日の連絡にも関わらずご対応いただきましてありがとうございました。
- ・ 簡単な用語から専門的な用語まで、会計、税務用語をわかりやすい言葉で説明していただきありがとうございました。
- ・ 貴重なお話しありがとうございました。野田先生のお話しをまたこういった形で伺えればと思います。
- ・ 久しぶりの会場参加でした。ライブ配信とは違いやはり臨場感があり良かったです。学生の無料申込みがなかったのは残念です。何かもっと良いアピール方法がないか考えてみたいです。